



霧の香



山粧う



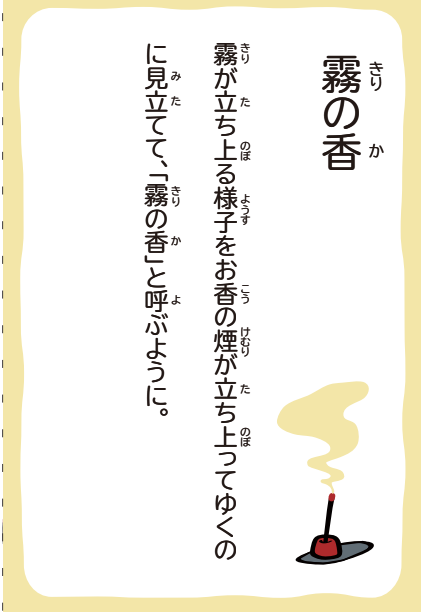
小春日和



風花



天手古舞



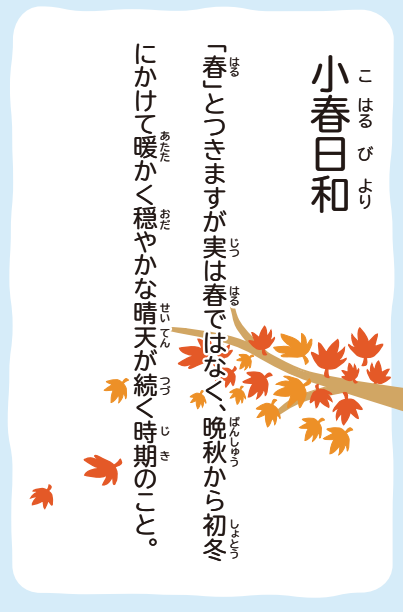
霧の香

霧が立ち上る様子をお香の煙が立ち上ってゆくのに見立てて、「霧の香」で表現します。



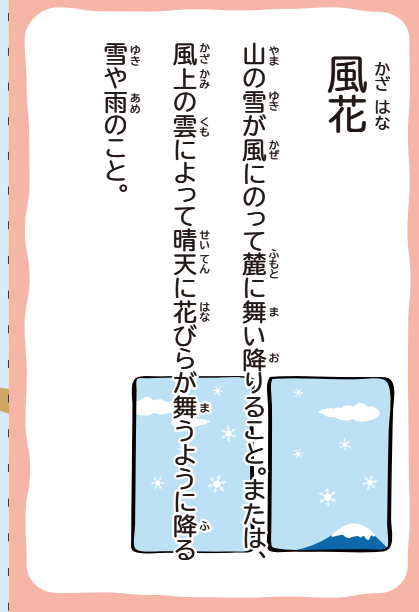
山粧う

俳句の秋の季語に使われる言葉で、山々が秋の訪れとともに色づく様子を表します。



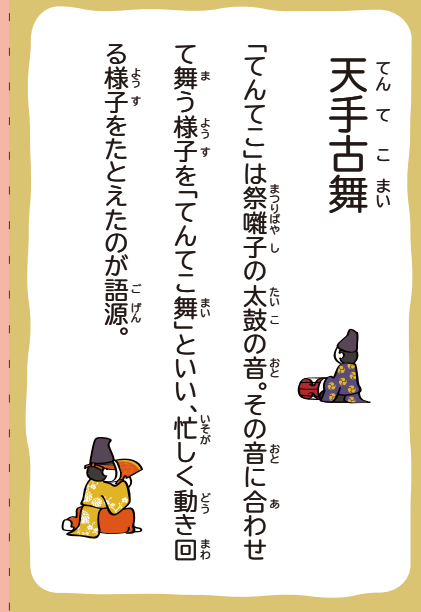
小春日和

「春」とつきますが実は春ではなく、晩秋から初冬にかけて暖かく穏やかな晴天が続く時期のこと。



風花

山の雪が風によって麓に舞い降りる様子。また、風上の雲によって晴天に花びらが舞うように降る雪や雨のこと。



天手古舞

「てんてこまい」は祭囃子の太鼓の音。その音に合わせて舞う様子を「てんてこまい」といい、忙しく動き回る様子をたとえたのが語源。